

福岡県三池島におけるベニアジサシの新繁殖地の発見

武下雅文

〒800 福岡県北九州市門司区大里戸ノ上3-13-11

はじめに

ベニアジサシ *Sterna dougallii* はイギリス, デンマーク, アフリカ, インド洋の島, スリランカ, ベンガル湾の島, ニューギニア, オーストラリア, 北アメリカ大陸の東海岸, キューバ, 南アメリカ大陸の最北部などで繁殖し, 日本には夏鳥として琉球列島で繁殖する (高野 1981). 沖縄本島では14か所の繁殖地が報告されており (尾崎 1991), 与論島, 先島諸島, 徳之島, 奄美大島, 種子島でも繁殖する (日本野鳥の会 1980). また大隅諸島の馬毛島でも繁殖する (清棲 1978). この馬毛島および種子島が日本でのベニアジサシの繁殖北限地であったが, 1994年7月12日福岡県大牟田市沖の三池島で本種の繁殖が確認された (安尾征三郎 私信). 今回この三池島でベニアジサシの繁殖状況を調査する機会を得たので報告する.

調査地

三池島は大牟田市地先より西6 km, 33°02' N, 130°21' Eに位置する無人の人工島である (図1, 2). この島は1970年に有明海の海上に三井三池炭鉱株式会社三池鉱業所により入気坑として建造された. 島は直径90mの円形, 中央部に高さ5 m, 直径7 mの立て坑がある. 島の高さは満潮時の海面より4.2mである.

ベニアジサシは島嶼の岩礁または海上にある岩礁, 砂浜, 海浜の岩礁などで繁殖するが (清棲 1978), 三池島は人為的に建造された島で, 周囲は鉄とコンクリートに囲まれ, コンクリート最上部から1.7m下に小石まじりの砂が敷かれ, カモジグサ *Agropyron tsukushiense*, ヘラオオバコ *Plantago lanceolata*, コマツヨイグサ *Oenothera laciniata* が繁茂している. 三池島から4 km離れた人工島の初島においてファンで排気を行ない, 三池島で吸気を行なっている. このため入気坑で吸気の時に坑の縁にとまった鳥が吸い込まれていた. 三池鉱業所の保安巡視員の安尾征三郎氏が1993年7月, 地下の坑道で吸い込まれた鳥を発見し, 以後1年間で17種, 131羽を保護した. そのうち41羽がベニアジサシであった. ベニアジサシが大量に保護された事態を山階鳥類研究所が重視し, 日本野鳥の会熊本県支部に照会したところ, 同支部が1994年7月12日の調査でヒナを発見した.

生息状況

筆者は日本野鳥の会熊本県支部の協力を得て1994年7月17日と8月7日に調査を行なった. ベニアジサシの集団繁殖地は島の南側, 植生もまばらな22×13mの方形に集中していた. その中に40×40 cm, 厚さ5 cmのコンクリートブロック55枚が点在しており (図3), そのまわりに産座が認められた. 巣は砂地にへこみがあるだけで巣材は使われておらず (図4), 7月17日に1卵の巣が11巣, 2

1994年12月24日受理

キーワード: 新繁殖地, 福岡県, ベニアジサシ, 三池島



図1. ベニアジサシの北限繁殖地，大牟田市三池島の位置.

Fig. 1. Miike Island, the northernmost breeding site of Roseate Terns.

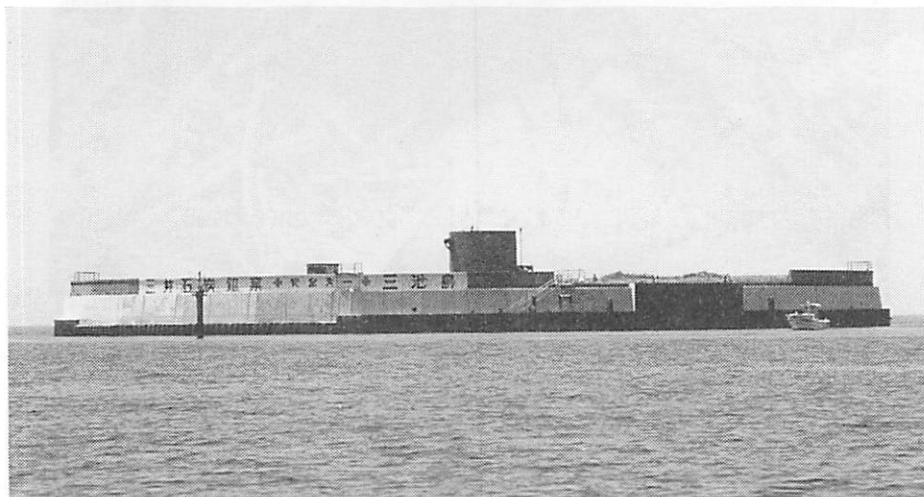


図2. 福岡県大牟田市三池島.

Fig. 2. Miike Island.

卵の巣が10巣，3卵の巣が1巣あり，成鳥は200羽確認された．これらの成鳥は沖縄本島の集団繁殖地でみられるように，親鳥は海水を浴びては産座に戻り抱卵を続けていた．ヒナ14羽には環境庁の標識リングを装着した．

8月7日には成鳥は49羽に減少しており，1卵の巣を16巣，2卵の巣を5巣，確認したが，ヒナは1羽も確認できなかった．また捕食によるものと考えられる成鳥の死体2と産座外でカラスにより捕食されたと思われる穴のあいた卵7個を発見した．



図3. 三池島内のベニアジサシの集団繁殖地。

Fig. 3. Breeding colony of Roseate Terns in Miike Island.



図4. ベニアジサシの2卵巣。

Fig. 4. A clutch of two eggs of Roseate Terns on Miike Island.

おわりに

三池島では6月にはコアジサシの繁殖も確認された(安尾征三郎 私信)。1993年にはたまたま坑道に吸い込まれたベニアジサシなどが保護されたが、同時にハヤブサ、チュウシャクシギと多数のツバメの死体があったことから、1970年に人工島が建造されて以来、相当数の鳥類が坑道に吸い込まれて死亡していると考えられる。日本野鳥の会熊本県支部は三池鉱業所に対して、鳥類への安全対策のた

め入気坑にネットを張ることを要請したが、新鮮な空気を坑道に送れないことを理由に企業側は躊躇している。

1992年、1993年に実施された山階鳥類研究所の有明海一帯での小型発信機や個体染色によるシギ・チドリ類の標識調査により、渡りの期間中、渡り鳥が有明海を移動していることが明らかにされたように（尾崎清明 未発表）、有明海は渡り鳥の重要な経路である。この有明海上に孤立した人工島の入気坑も一時的に休息の場として利用されていると思われる。これらの鳥や新しいベニアジサシの北限地を守るためにも、早急に防護策が施されることが望まれる。

謝 辞

北九州市立自然史博物館の真鍋徹博士には三池島の植物の同定をお願いした。日本野鳥の会熊本県支部の阿久根修、安尾征三郎氏には船の手配や、調査実施について快く応じていただいた。他にも有馬裕幸、米村公子、佐藤重穂、白石健一、田中忠、森隆二、日本野鳥の会福岡支部の岡部海都、日本野鳥の会北九州支部の山口典之氏らにも協力をいただきお礼申し上げる。

引用文献

- 清棲幸保. 1978. 増補改定版 日本鳥類大図鑑Ⅱ. 講談社, 東京.
 日本野鳥の会. 1980. 鳥類繁殖地図調査1978. 環境庁, 東京.
 尾崎清明. 1991. 平成2年度鳥類観測ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.

Discovery of a new breeding site of the Roseate Tern *Sterna dougallii* at Miike Island, an artificial island, in Fukuoka Prefecture, southern Japan.

Masafumi Takeshita

3-13-11 Dairitonoue Moji-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka 800

A new breeding site of the Roseate Tern was discovered in July 1994 at Miike Island, an artificial island, off the coast of Omuta City, Fukuoka Prefecture. Two hundred adult terns and 14 chicks were observed on Miike Island, 17 July, 1994.

As a result of this discovery, this site has become the northernmost breeding site of the species in Japan. Tane Island and Mage Island in Kagoshima Prefecture had been the reported northern limit of the current species in Japan so far.

Key words: Fukuoka Prefecture, Miike Island, new breeding site, *Sterna dougallii*